

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エストアー

コード番号 4304 URL <http://Estore.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石村 賢一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 CC担当 (氏名) 柳田 要一

TEL 03-3595-1106

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	3,032	12.1	483	22.8	489	23.0	273	21.4
22年3月期第3四半期	2,703	11.8	393	30.6	397	31.1	224	40.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	6,244.43	6,242.00
22年3月期第3四半期	4,963.99	—

(注) 22年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、期中平均株価が新株予約権の行使価格より低く、1株当たり四半期純利益が希薄化しないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	3,611	1,551	42.9	36,432.49
22年3月期	3,202	1,571	49.0	35,012.84

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 1,549百万円 22年3月期 1,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	1,950.00	1,950.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

当社の属するインターネット業界は環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては数値の精度に対する確証が得られないため、合理的な予測が困難であることから、業績予想について記載しておりません。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.6「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 51,636株 22年3月期 51,636株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 9,111株 22年3月期 6,811株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 43,752株 22年3月期3Q 45,318株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社の属するインターネット業界は環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては数値の精度に対する確証が得られないため、合理的な予測が困難であることから、業績予想について記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	5
(3) 業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	6
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 四半期財務諸表	7
(1) 四半期貸借対照表	7
(2) 四半期損益計算書	9
【第3四半期累計期間】	9
【第3四半期会計期間】	10
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

Eコマース市場は引き続き拡大しており、特に当第3四半期累計期間においては、クリスマスやお歳暮を中心とした年末商戦などの季節要因による受注数の増加が反映されております。こうした状況のなか、当社はEコマース市場のニーズを吸い上げ、店舗繁盛のためのノウハウ提供や機能追加、店舗運営の視点に立ったバックオフィス業務軽減に繋がる機能追加などの施策を繰り返し行ってまいりました。以上の結果、顧客店舗業績においては、受注数は564万回、流通額は723億円となり、共に対前年同期比で約109%と伸長しております。

また、当社サービス全体での新規契約件数は6,766件、累計契約件数は47,716件となり、前期末に比べ617契約の減少となっておりますが、内訳としては、収益性の低い依存販路の各種サービスが1,953件減少したのに対し、収益性が高く流通（フロー）を伴う自社販路の店舗系サービスが1,332店増と順調に増加しており、堅調なストック（契約店舗数に連動）と順調なフロー（店舗の業績に連動）の拡大のための礎となっております。売上構成では、フロー売上が全体の36.0%（対前年同期比4ポイント増）となり、店舗獲得とともに、店舗業績拡大の施策に注力してきたことが寄与しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は3,032,172千円（前年同期比12.1%増）、営業利益は483,586千円（前年同期比22.8%増）となりました。経常利益は489,261千円（前年同期比23.0%増）となり、特別利益として投資有価証券売却益22,999千円、特別損失として保有する有価証券の評価損24,412千円、本社増床等に伴う固定資産除却損15,576千円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額4,698千円を計上したために、当四半期純利益は273,206千円（前年同期比21.4%増）となりました。利益に関しましては、各所で地道な改良を行うことにより、広告宣伝の精度向上や人員増の抑制などの効果が出ておりますが、一方で引き続き、EC特化の人材サービス、請負型の自社販売などの新規事業やオフィス環境整備のための事業投資も積極的に進めております。

第4四半期につきましては、自社販路による顧客獲得と顧客売上増大のための施策を進め、さらなる収益獲得を目指すとともに、ネット上の消費行動や商流経路の激変に対応すべく、前3四半期より一層の積極的的事业投資を行っていく方針です。

(主要サービス別契約件数の四半期推移)

Eコマース用レンタルサーバー件数推移

	平成22年3月期 第3四半期	平成22年3月期 第4四半期	平成23年3月期 第1四半期	平成23年3月期 第2四半期	平成23年3月期 第3四半期
新規契約件数	510	451	414	342	273
(内 直販件数)	(61)	(35)	(40)	(24)	(45)
(内 代理店販売件数)	(66)	(57)	(42)	(49)	(31)
(内 OEM販売件数)	(383)	(359)	(332)	(269)	(197)
解約件数	1,261	1,536	1,564	1,621	1,584
(内 直販件数)	(209)	(162)	(179)	(207)	(184)
(内 代理店販売件数)	(449)	(410)	(413)	(372)	(333)
(内 OEM販売件数)	(603)	(964)	(972)	(1,042)	(1,067)
累計件数	32,475	31,390	30,240	28,961	27,650
(内 直販件数)	(4,150)	(4,023)	(3,884)	(3,701)	(3,562)
(内 代理店販売件数)	(9,153)	(8,800)	(8,429)	(8,106)	(7,804)
(内 OEM販売件数)	(19,172)	(18,567)	(17,927)	(17,154)	(16,284)

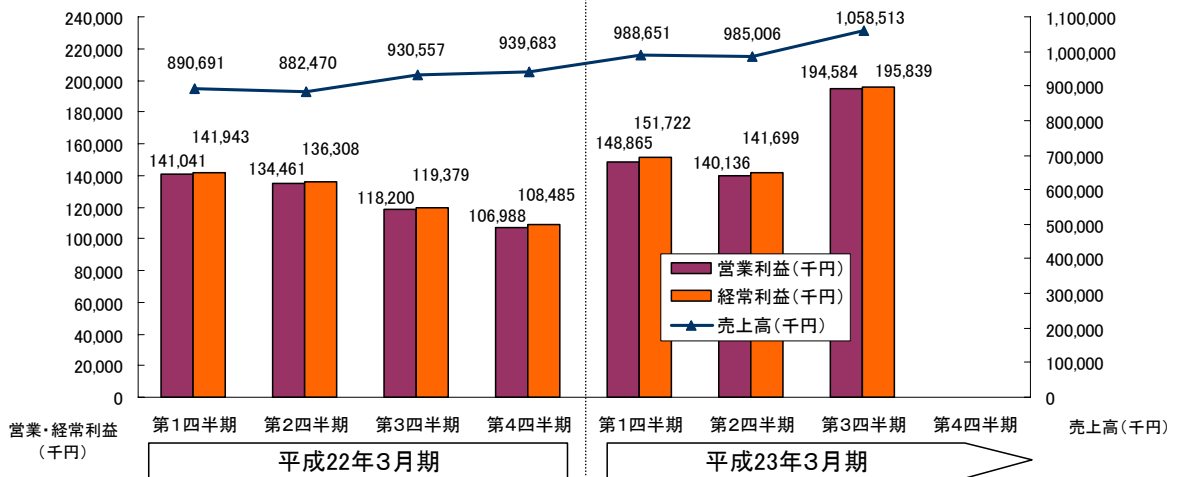
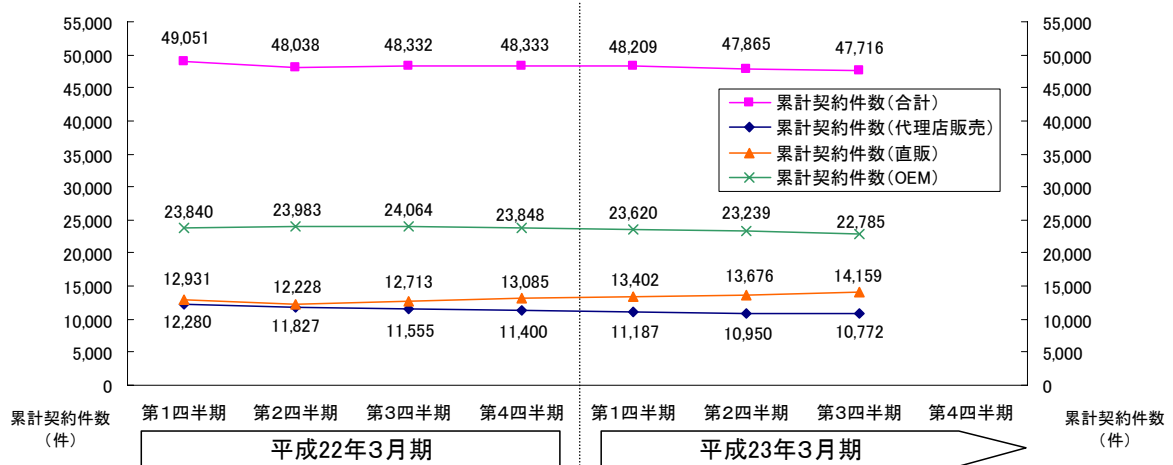
ショッピングカートASP件数推移

	平成22年3月期 第3四半期	平成22年3月期 第4四半期	平成23年3月期 第1四半期	平成23年3月期 第2四半期	平成23年3月期 第3四半期
新規契約件数	13	36	41	7	4
(内 直販件数)	(12)	(36)	(41)	(6)	(4)
(内 代理店販売件数)	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
解約件数	56	57	76	76	59
(内 直販件数)	(41)	(41)	(47)	(62)	(51)
(内 代理店販売件数)	(15)	(16)	(29)	(14)	(8)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
累計件数	895	874	839	770	715
(内 直販件数)	(572)	(567)	(561)	(505)	(458)
(内 代理店販売件数)	(323)	(307)	(278)	(265)	(257)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

ウェブショップ総合支援件数推移

	平成22年3月期 第3四半期	平成22年3月期 第4四半期	平成23年3月期 第1四半期	平成23年3月期 第2四半期	平成23年3月期 第3四半期
新規契約件数	1,738	1,746	1,832	1,823	2,030
(内 直販件数)	(1,114)	(975)	(1,033)	(1,113)	(1,248)
(内 代理店販売件数)	(234)	(311)	(309)	(240)	(262)
(内 OEM販売件数)	(390)	(460)	(490)	(470)	(520)
解約件数	650	639	771	819	813
(内 直販件数)	(452)	(471)	(571)	(600)	(579)
(内 代理店販売件数)	(109)	(97)	(122)	(141)	(130)
(内 OEM販売件数)	(89)	(71)	(78)	(78)	(104)
累計件数	14,962	16,069	17,130	18,134	19,351
(内 直販件数)	(7,991)	(8,495)	(8,957)	(9,470)	(10,139)
(内 代理店販売件数)	(2,079)	(2,293)	(2,480)	(2,579)	(2,711)
(内 OEM販売件数)	(4,892)	(5,281)	(5,693)	(6,085)	(6,501)

(契約件数と売上・利益の四半期推移)



(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は3,611,672千円となり、前事業年度末比で408,782千円増加いたしました。

当第3四半期会計期間における財政状態の変動状況は次のとおりです。

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末比で408,782千円増加し、3,611,672千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加353,244千円、売掛金の増加67,828千円、オフィス増床に伴う敷金の増加10,960千円、ソフトウェア開発等による無形固定資産の増加10,011千円、投資有価証券の売却と再評価に伴う減少17,119千円によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末比で428,425千円増加し、2,060,141千円となりました。これは主に、当社顧客の決済代行額増加に伴う預り金の増加527,788千円、未払金の減少40,067千円、未払法人税等の減少67,144千円によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末比で19,642千円減少し、1,551,531千円となりました。これは、当第3四半期純利益として273,206千円を計上したものの、平成22年3月期の配当金87,408千円と平成22年8月から9月にかけて自己株式の取得209,609千円を行ったことによります。これにより自己資本比率は42.9%（前事業年度末比6.1ポイント減）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末比で353,244千円増加し、2,061,887千円（前事業年度末比20.7%増）となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、784,777千円（前年同四半期は892,429千円の増加）となりました。これは主に、税引前四半期純利益467,572千円、減価償却費134,752千円、当社顧客の決済代行額増加に伴う預り金の増加527,788千円、法人税等の支払に伴う減少250,756千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、134,332千円（前年同四半期は247,609千円の減少）となりました。これは主に、オフィス整備及びサーバー等の購入による有形固定資産の取得に伴う支出72,216千円、ソフトウェア開発による無形固定資産の取得に伴う支出69,073千円、投資有価証券の取得に伴う支出10,315千円、投資有価証券の売却に伴う収入43,910千円、関係会社株式の取得に伴う支出10,050千円、オフィス増床による敷金増加に伴う支出10,960千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、297,178千円（前年同四半期は193,209千円の減少）です。これは、自己株式の取得に伴う支出210,087千円、配当金の支払額87,090千円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社の属するインターネット業界は環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては数値の精度に対する確証が得られないため、合理的な予測が困難であることから、業績予想について記載していません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 一般債権の貸倒見積額の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益及び経常利益は907千円減少し、税引前四半期純利益は5,606千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は8,858千円であります。

#### ② 表示方法等の変更

##### (四半期貸借対照表関係)

前第3四半期会計期間末において独立掲記しておりました「前渡金」(当第3四半期会計期間末1,256千円)は、継続的に重要性が乏しくなったため、当第3四半期会計期間末においては流動資産の「その他」に含めて表示しております。



3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,061,887	1,708,643
売掛金	495,187	427,359
原材料及び貯蔵品	16,445	6,996
前渡金	—	2,302
その他	124,336	134,074
貸倒引当金	△6,237	△5,271
流動資産合計	2,691,619	2,274,105
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品 (純額)	212,388	236,935
その他 (純額)	19,680	10,122
有形固定資産合計	232,069	247,057
無形固定資産	281,082	271,070
投資その他の資産		
投資有価証券	250,891	268,010
敷金	114,365	103,404
その他	51,644	49,239
貸倒引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	406,901	410,654
固定資産合計	920,053	928,783
資産合計	3,611,672	3,202,889
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	129,836	118,213
未払金	65,506	105,574
未払法人税等	79,268	146,412
賞与引当金	33,555	46,854
前受金	71,696	91,637
預り金	1,618,482	1,090,694
その他	51,515	32,329
流動負債合計	2,049,861	1,631,716
固定負債		
資産除去債務	10,279	—
固定負債合計	10,279	—
負債合計	2,060,141	1,631,716

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	523,328	523,328
資本剰余金	539,408	539,408
利益剰余金	1,485,881	1,300,083
自己株式	△991,853	△782,244
株主資本合計	1,556,765	1,580,577
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,474	△11,126
評価・換算差額等合計	△7,474	△11,126
新株予約権	2,239	1,722
純資産合計	1,551,531	1,571,173
負債純資産合計	3,611,672	3,202,889

(2) 四半期損益計算書  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	2,703,718	3,032,172
売上原価	1,485,350	1,684,643
売上総利益	1,218,368	1,347,528
販売費及び一般管理費	824,664	863,942
営業利益	393,703	483,586
営業外収益		
受取利息	3,426	3,430
受取配当金	173	165
雑収入	867	814
投資有価証券割当益	—	1,783
営業外収益合計	4,468	6,193
営業外費用		
自己株式取得費用	316	478
雑損失	224	39
営業外費用合計	540	518
経常利益	397,631	489,261
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22,999
特別利益合計	—	22,999
特別損失		
固定資産除却損	455	15,576
投資有価証券評価損	13,448	12,707
関係会社株式評価損	—	11,704
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,698
特別損失合計	13,903	44,688
税引前四半期純利益	383,727	467,572
法人税、住民税及び事業税	158,782	186,702
法人税等調整額	△12	7,663
法人税等合計	158,769	194,366
四半期純利益	224,958	273,206

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	930,557	1,058,513
売上原価	530,738	581,591
売上総利益	399,818	476,922
販売費及び一般管理費	281,617	282,337
営業利益	118,200	194,584
営業外収益		
受取利息	1,141	1,141
雑収入	37	120
営業外収益合計	1,178	1,262
営業外費用		
雑損失	—	7
営業外費用合計	—	7
経常利益	119,379	195,839
特別損失		
固定資産除却損	200	—
投資有価証券評価損	12,929	3,793
特別損失合計	13,129	3,793
税引前四半期純利益	106,249	192,046
法人税、住民税及び事業税	35,750	63,514
法人税等調整額	8,319	14,727
法人税等合計	44,070	78,241
四半期純利益	62,179	113,804

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	383,727	467,572
減価償却費	105,425	134,752
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,698
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	996	966
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,092	△13,299
受取利息及び受取配当金	△3,600	△3,596
為替差損益 (△は益)	10	23
自己株式取得費用	—	478
株式報酬費用	1,205	516
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△22,999
有形固定資産除却損	200	14,656
無形固定資産除却損	255	920
関係会社株式評価損	—	11,704
投資有価証券評価損益 (△は益)	13,448	12,707
売上債権の増減額 (△は増加)	△92,783	△87,769
仕入債務の増減額 (△は減少)	38,955	12,669
未払金の増減額 (△は減少)	△10,474	△33,262
預り金の増減額 (△は減少)	600,815	527,788
その他の資産の増減額 (△は増加)	△5,480	△11,627
その他の負債の増減額 (△は減少)	13,992	16,117
小計	1,033,600	1,033,019
利息及び配当金の受取額	2,519	2,514
法人税等の支払額	△143,690	△250,756
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>892,429</b>	<b>784,777</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△109,761	△72,216
有形固定資産の除却による支出	—	△4,979
無形固定資産の取得による支出	△127,585	△69,073
資産除去債務の履行による支出	—	△648
投資有価証券の取得による支出	—	△10,315
投資有価証券の売却による収入	—	43,910
関係会社株式の取得による支出	—	△10,050
敷金の差入による支出	△10,262	△10,960
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△247,609</b>	<b>△134,332</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△121,128	△210,087
配当金の支払額	△72,081	△87,090
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△193,209</b>	<b>△297,178</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△23
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>451,600</b>	<b>353,244</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,558,080	1,708,643
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,009,681	2,061,887

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年8月18日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、平成22年8月19日から平成22年9月30日までを取得期間とする自己株式取得に係る事項を決議し、自己株式2,300株を取得しました。

その結果、自己株式が209,609千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式は991,853千円となりました。